

授業科目等の概要

(工業専門課程 情報処理学科)															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
	○		IT技術基礎	コンピュータを使える技術者を育成する上で、コンピュータやコンピュータシステムにかかわる基礎的な技術知識について、浅く、広く学習する。	1前	100	6	○	△		○		○		
	○		IT技術演習	IT技術基礎で学んだ知識の定着を図るために演習を行う。	1通	40	2	△	○		○		○		
	○		基本情報技術者試験対策講座	基本情報午前免除のためのIPA認定講座として実施する。情報処理技術者能力認定試験2級1部の合格者を対象として、指定カリキュラムの講座を実施する。	1前	50	3	○	△		○		○		
	○		WordExcel 演習	ビジネススキルのひとつであるOfficeソフトのWord、Excelの利用方法を教科書の演習を通じて学習する。	1前	60	3		○	△	○		○		
	○		アルゴリズム基礎	フローチャートを用いてアルゴリズムの考え方を習得するとともに、プログラミングをする上で必要なデータ構造(配列・木構造・スタック・リスト構造など)についても学ぶ。	1前	30	2	○	△		○		○		
	○		アルゴリズム演習	アルゴリズム入門で学んだ知識を発展させるため演習を行う。演習は問題を解き、それに対しポイントを講義・解説する形式で行う。	1前	60	3	△	○		○		○		
	○		セキュリティ	セキュリティにおいて重要な知識を講義形式で学ぶとともに、演習や実習を通じてその理解を深める。また、情報処理国家試験の問題を使用した演習も実施する。	1前	60	3		○		○		○		
	○		プログラム基礎 (Java)	①プログラミングの基礎を学ぶ ②Java言語でのプログラムの作成方法を理解するの2点を目標とする。授業では参考書でポイントを説明・確認した後に演習課題を出題する。	1前	40	2	△	○		○		○		
	○		HTML	HTMLとCSSの基礎を教科書を用いて学び、Webページの作成方法を理解する。また、作成するだけでなくWebサーバ(Apache)を用いてWebページを公開する方法についても学習する。	1後	40	1	△		○	○		○		
	○		基本情報技術者試験対策演習	基本情報技術者試験の合格を目指して、午後問題の演習・解説を行う。基本情報技術者試験の問題を通して、IT技術者として基本的な知識を身に付ける。	1後	30	1		○		○		○		

11	○	JavaScript	Webサイト・Webアプリ・スマホアプリのWeb画面などの、多くの開発で採用されているJavaScriptについて、HTML・CSS等を組み合わせ、動的なページの表現技術や知識を学習する。	1 後	40	2	△	○	△	○	○							
12	○	U n i t y (C#)	ゲームを題材にC#のプログラミングについて学ぶ。課題については、提出後に担当教員によるチェックを行い、エラーや指摘事項などをフィードバックし実践的なプログラミングスキルを習得する。	1 後	60	3	△	○		○	○							
13	○	データベース	MariaDBを用いてデータベースのインストールや環境構築の方法から学んだ後、SQLを使用したデータベース操作について実習も交えて学び、演習課題やテストを通じて理解を深める。	1 後	40	2	△	○	△	○	○							
14	○	プロジェクト 概論	「システム開発」という仕事の流れを理解し、実習の中で実践することで、その大切なポイントを体得する。システム開発での各工程での作業内容について講義する。また、バージョン管理システムの使い方を学習する。	1 後	40	2	△	○			○	○						
15	○	プログラム応 用 (Java)	前期に学んだ基礎的な内容を復習後、クラスや継承などのオブジェクト指向プログラミングについて学ぶ。	1 後	90	4	△	○	△	○	○							
16	○	キャリアプラン ニング	仕事やキャリアについて学び、就職活動やその具体的な取り組みについて考える。また、履歴書・作文等の書類作成方法や社会人として必要なマナーについても学ぶ。	1 通	30	1				○	○	○						
17	○	情報処理試験 総合演習 I	4月以降に実施される情報処理技術者試験に向けて、演習や模擬試験を実施することで必要な知識についての理解を深める。	1 後	60	3	△	○			○	○						
18	○	キャリアリテ ラシー	自分の人生計画や社会人としての「働く意義」について考え、就職試験に必要な知識を修得する。	2 前	20	1				○	○	○						
19	○	PC演習	コンピュータサービス技能評価試験 表計算部門 3級の検定対策とし、試験科目範囲に沿って、Excelの基礎～応用機能まで一連の操作を学ぶ。	2 前	40	2			○	△	○	○						
20	○	フロントエン ドプログラミ ング	JavaScriptについて、HTML・CSS等を組み合わせ、動的なページの表現技術や知識を学習する。発展内容として、レスポンシブデザインやjQueryを学ぶ。	2 前	40	2	△	○			○	○						
21	○	情報処理試験 対策	情報処理技術者試験に向けて、演習や模擬試験を実施することで必要な知識についての理解を深める。	2 前	30	1				○	○	○						
22	○	Webアプリ開 発	サーブレットとJSPについて実習を通じて学び、サーバ側の処理について理解する。授業の後半は実際にグループでWebアプリの開発を行い、企画や設計も含めた開発の流れについても実践的に学ぶ。	2 前	80	2	△			○	○				○	○		

23	○	プロジェクト 開発実習	「システム開発」という仕事の流れを理解し、実習の中で実践することで、その大切なポイントを体得する。グループ単位で開発業務を実際に行いシステム開発の流れを深く理解する。	2 前	70	2	○	○	○									
24	○	Pythonプログラ ミング	模擬試験と解説を通じて情報処理の知識を身に着けるとともに、各種の情報処理国家試験の合格を目指す。	2 通	230	11	△	○	○	○								
25	○	キャリア教育 実習	グループワークや研修を通じて総合的な人間力を身に着けることを目的とする。また、企業が主催するカンファレンス等への参加を通じて最新技術に触れることで自分自身が将来関わる仕事について考える。	2 前	30	1	△	○	○	○								
26	○	卒業研究	システム開発の企画からテストまでの全ての工程を学生主導で行う。随時担当教員からのチェックと指導を受け、最終的に集大成として卒業研究成果発表会にて企業の方に向けてプレゼン・質疑応答を行う。	2 後	325	10		○	○	○								
合計				26	科目	75 単位 (単位時間)												

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	2年限以上在学し、1700時間以上履修した者で、納付金が完納し、課程を終了したと学校長が認めた者	1 学年の学期区分	2 期
履修方法：	科目ごとに必要授業時間数の出席および課題提出	1 学期の授業期間	18 週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。